

## 2022 前期授業アンケート「学習状況把握用」結果概要

教学 IR 室

### ■ 本アンケートの位置づけ

- ・ 本アンケートは、科目レベルの教育改善に向けたものであり、全ての科目（非常勤講師担当科目も含む）で、コースの中間地点で実施するものである。
- ・ 当該科目における「学習で困難に感じていること」「目標を達成するための今後の学習」「授業時間外学習の程度」などを、量的・質的に捉えた上で、各科目担当教員がそれぞれの判断をもって、その期における授業の改善や、学生との対話を目指して構成されたものである。学生の価値判断からその授業の良し悪しを議論するためのものではない。
- ・ 本アンケートは、シラバスを学生が再確認し、学生の状況を形式的に評価するものであるため、中間地点の平均的な結果よりも、これをもとにどのように各教員が対応したのかが重要になる。ただし、回答率や manaba の活用状況に関しては、本報告の平均的なデータからその多寡をもとに議論することも有益になりうる。
- ・ また、新型コロナウイルスの影響を受け、本アンケートにおいても遠隔授業関連の項目が追加されている。その分析結果は、各教員が今後の遠隔授業環境下での授業の実施方法を再考するための資料となることを意図している。

### ■ 設問内容（主に 6 件法：全く当てはまらない(1 点)～非常によく当てはまる(6 点)）

1. 学籍番号
2. 氏名
3. この授業の主な形式
4. この授業の目標を達成するために自分が取り組まなければならないことをよくわかっている
5. この授業が何に役立つのかをよくわかっている
6. この授業の内容は今のところしっかり理解できていると思う
7. この授業中の活動に集中して取り組んでいる
8. この授業の内容を理解するために授業時間外にも関連する学習をしている
9. この授業で学んでいる内容をさらに深く学びたいと考えている
10. この授業で 1 回あたりどのくらいの時間の予習をしましたか  
1 : 0 分 2 : 30 分未満 3 : 30～60 分 4 : 60～90 分 5 : 90 分以上
11. この授業で 1 回あたりどのくらいの時間の復習をしましたか
12. この科目で授業時間中に、Web 会議システム(zoom や Meet)を通じてリアルタイムで教員が解説をするのはどれくらいの割合でしたか。大まかでもかまいませんので一番近いものをお選びください。
13. この授業において授業時間外で行う課題に対して、負担を感じている
14. この授業内容に関する教員とのコミュニケーションや質問等を積極的に行っている
15. 上記 Q14 の質問で「1」または「2」を選択した人はその理由を下記から選んでください。  
1 : 質問の必要性を感じなかった 2 : オンライン上で質問しにくかった 3 : その他
16. この授業内容に関する学生同士のコミュニケーションを積極的に行っている
17. manaba を十分に活用できている
18. これまでこの科目の学習に関して、内容的な理解の面で困難を感じていることはありますか。  
例「〇〇がまだ理解できていない」「××を覚えることができていない」など。
19. これまでこの科目について、どのような事前・事後学習（予習や復習、課題、追加学習など）を行ってきましたか。例「資料を見返している」「関連する文献を読んでいる」など。
20. この科目の学習をするにあたって、対面に比べてオンラインが適していると思ったことがあればお書きください。(例：教室と違って投影資料がはっきり確認できる、など)
21. この科目の学習をするにあたって、対面に比べてオンラインが適していないと思ったことがあればお書きください。(例：他の学生の様子が分からないと不安になる、など)

■ 量的項目の科目種・学科別平均値

| 科目種等        | 対象学科   | 実施率   | 回答率   | 設問<br>4 | 設問<br>5 | 設問<br>6 | 設問<br>7 | 設問<br>8 | 設問<br>9 | 設問<br>10 |
|-------------|--------|-------|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 基礎科目        | 全学科    | 86.0% | 39.3% | 4.79    | 4.80    | 4.41    | 4.96    | 3.46    | 3.97    | 1.81     |
| 専門基礎科目・専門科目 | 看護学科   | 89.3% | 30.4% | 4.84    | 5.03    | 4.43    | 4.87    | 3.77    | 4.40    | 1.95     |
|             | 理学療法学科 | 85.4% | 66.0% | 4.82    | 4.96    | 4.36    | 4.82    | 3.85    | 4.49    | 2.08     |
|             | 作業療法学科 | 82.9% | 49.7% | 4.94    | 5.11    | 4.48    | 4.91    | 3.85    | 4.58    | 2.01     |
|             | 臨床工学科  | 86.0% | 34.8% | 4.52    | 4.63    | 4.03    | 4.57    | 3.68    | 4.17    | 1.75     |
|             | 複数学科   | 87.5% | 37.4% | 4.83    | 4.98    | 4.24    | 4.69    | 3.81    | 4.25    | 1.72     |
|             | 全学科    | 86.3% | 43.4% | 4.78    | 4.94    | 4.34    | 4.79    | 3.77    | 4.39    | 1.91     |
| 大学院の科目      | 全学科    | 53.3% | 26.0% | 4.78    | 5.25    | 3.88    | 4.88    | 3.50    | 4.72    | 2.34     |

※実施率は回答率が0%ではない科目の割合。回答率は各科目の回答率の平均を算出。

■ 量的項目の科目種・学科別平均値 ※設問15は各選択肢を選択した割合

| 科目種等        | 対象学科   | 設問<br>11 | 設問<br>12 | 設問<br>13 | 設問<br>14 | 設問<br>15-1 | 設問<br>15-2 | 設問<br>15-3 | 設問<br>16 | 設問<br>17 |
|-------------|--------|----------|----------|----------|----------|------------|------------|------------|----------|----------|
| 基礎科目        | 全学科    | -        | -        | 2.87     | 3.10     | 77.8%      | 6.3%       | 23.0%      | 3.85     | 4.69     |
| 専門基礎科目・専門科目 | 看護学科   | -        | -        | 2.94     | 3.26     | 80.5%      | 2.2%       | 24.3%      | 3.86     | 4.49     |
|             | 理学療法学科 | -        | -        | 2.77     | 3.73     | 62.7%      | 1.1%       | 37.6%      | 4.40     | 4.27     |
|             | 作業療法学科 | -        | -        | 3.24     | 4.21     | 67.3%      | 4.6%       | 37.0%      | 4.82     | 4.50     |
|             | 臨床工学科  | -        | -        | 2.59     | 3.21     | 80.0%      | 1.4%       | 23.7%      | 3.55     | 3.78     |
|             | 複数学科   | -        | -        | 2.21     | 2.76     | 72.8%      | 12.0%      | 31.5%      | 4.08     | 4.40     |
|             | 全学科    | -        | -        | 2.84     | 3.55     | 72.3%      | 2.7%       | 31.0%      | 4.16     | 4.28     |
| 大学院の科目      | 全学科    | -        | -        | 3.16     | 4.00     | 0.0%       | 0.0%       | 100.0%     | 4.19     | 4.38     |

■ 量的項目における改善に向けた方向性

- 量的項目においては上記のように、それぞれの項目で科目種や学科別に科目の平均値を算出した。ただし、これらはあくまで平均値であり、科目の中には6に近い値を出した科目もあれば、1に近い値を出した科目も存在する。各教員には、上記の平均値と自身の科目における各項目の値を比較することで、自身の授業科目の改善の方向性について考えるきっかけとしていただきたい。

■ 質的項目における改善に向けた方向性

- 位置づけで述べたように、本アンケートは、各担当教員が学生の学習状況を把握しながら対応を考えるものである。そのため、一概に有効な対応策は提示できない。しかし、一例として、「全体的にあまり理解できませんでした」という声があれば、設問19において学生がどのように学習に取り組んでいるかを確認しながら、不足している学習方法や推奨される学習方法を個人または全体に向けて提案するなどの対応が考えられる。